
屑男～右寄り中学生の人生～

ロンリーウルフ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

屑男く右寄り中学生の人生く

【Nコード】

N3270X

【作者名】

ロンリーウルフ

【あらすじ】

自己皮肉と自嘲で書き綴った、作者・ロンリーウルフの随筆。

序章 寂しい狼、その本性

平成9年（1997年）9月29日、その日は月曜日だったという。午前9時32分に宮崎県内の産婦人科で生まれた。それが私である。現在の私は中学校2年生。クラスは4組。出席番号2番、何故だか、学級委員長をやっている。私が学級委員長になったとき、誰も文句をいう者は無かった。まあ恐らく、「面倒臭いから、アイツにやらせとけばいいだろう」という事なのだろうが。

私の性格は、短気で面倒臭がり。その上、自分勝手に、同時に自暴自棄。人前では強がっているが、実際は臆病者で、寂しがり屋。だが、余りしつこく絡まれるのも好きではない。少し前は、無類の女好きであったが、最近はその女性が何故だか、とても汚らわしいものに見えるようになった。独り言が多く、頭を掻いたり、首を回したりする癖がある他、本当にたまにだが、爪を噛んでいる事もある。好きな食べ物は、よく変わるが、最近は鶏肉の唐揚げだ。一度、ガチョウも食べてみたいと思っている。嫌いな食べ物は玉子焼きやオムライス、それとオムレツ。よく珍しいといわれる。あと調味料だが、マヨネーズ。

好きな教科は社会。特に日本史にかけては、マニアックな知識を少々持っており、時には先生より詳しくたりする。逆に苦手なのは理科。特に科学。はつきりいって、ヤル気がまったく無い。その気になれば、今よりはよくなるのだろうが、その気にならないのだから、意味が無い。

尊敬する人物は、サド侯爵。何故なら、彼は自分の好きな事をやったから。まあ、その性で一生を台無しにした感はあるのだが、私には到底真似できない事であるから、憧れるものがある。あんなに自由生きてみたいものである。

第一章 私という身勝手な男

ふと自分の事を振り返ると、自分はどこまでも自分勝手な人間だと、思ったりする。自分には友達と呼べるような人がいない。

それは私が嫌われ者だったからという事もあるが、それ以外に、私自身が、同級生を見下していた事が挙げられる。どうせここにいる連中の9割は、シヨールもない高校・大学へ進み、シヨールもない会社なんか就職し、シヨールもない人生を送るのだろう。高校にも行かず、もつとシヨールもない人生を送る奴もいるだろう。そうさ、貴様らなんぞ、その程度の間人なのだと、口には出さないが心の奥底ではいつもそう思っていた。

同時に、私だけは違っていると、どこかでそう思っていた。けして今まで、同級生をアツと言わせるような事をした、という事はない。だが、私には自信というのか、何と言うのか、そんなモノがあった。何時か、何かをやってやる、それは決意というよりは、決定事項という認識がそこにある。そうでもしなきゃ、自分が生きている意味がないような気がしていた。無謀なのは百も承知。それでも、歴史に名が残るような、そんな何かをしてみせるのだと、いつも頭の中での考えがあった。

臆病で、狡猾で、考えたら、自分の短所しか思い当たらない。しかし、作家として大成する、そんな夢を何時からか、私は見ていた・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3270x/>

屑男～右寄り中学生の人生～

2011年12月11日12時45分発行